

平成22年度 始動

新久慈市が誕生して5年目となる平成22年度が動き始めました。依然厳しい雇用情勢など、さまざまな課題もありますが、市は本年度も輝くまちを目指して前進します。2月8日の第20回定例市議会本会議の施政方針演述の中で示された「まちの指針」。次のページではその一部を要約してお知らせします。また6～7ページでは予算を、8～9ページでは主な事業をお知らせします。



力強い口調で方針を示す山内市長

輝くまちに前進

基本姿勢は市民協働 発展に向け取り組み

一昨年秋以来の世界的な経済不況は、わが国の経済を直撃し、地方も一段と厳しい環境に置かれています。

深刻化する経済状況を打破するため、地域の実態や雇用・経済情勢に即応した対策と財政措置を講ずるよう、国に強く求めていく必要があると考えています。

また本年4月から広域振興局体制に移行する県には、県北・沿岸振興が推進されるよう訴えていく必要があると考えています。

このような社会経済情勢のもと「市民との協働によるまちづくり」を基本姿勢とし、当市の発展と市民満足度の向上に向けて鋭意取り組んでいきます。

6つのまちづくりを 全力で押し進めます

【1】市民との積極的な協働を進めるまちづくり

まちづくりには、市民と行

政が問題意識と目標を共有することが重要です。引き続き市民の市政への積極的な参加が促進されるよう、努めていきたいと考えています。

また本年は米国フランクリン市との姉妹都市締結50周年を迎えることから、記念事業の実施を検討する必要があると考えています。

【2】地域みんなで支えあうまちづくり

社会福祉の充実

については、一人暮らし高齢者や障がい者などが安心して生活できるよう、支援体制の充実に努めていきます。

保健・医療・福祉など関係機関と連携を図りながら、各世代の「ここから」の健康づくりの推進に努めることが重要と考えています。

【3】創造性豊かな人材を育てるまちづくり

子育て支援の充実については、保育料の見直しの実施や保育所利用者へのサービス向上を図ったほか、安心して生育てられる環境づくりにも

努めたところです。

学校教育の充実については、学習環境を整え、地域・家庭との連携を深めながら、知・徳・体の調和のとれた人間形成に努めることが重要と考えています。

【4】自然・地域を守るまちづくり

自然環境の保全については「久慈市環境基本計画」のもと、市民・事業者・行政が一

わいを創出するまちづくり

久慈市農業振興地域整備計画などを基本姿勢として農業を振興。林業の振興については、森林整備の推進に取り組んだところです。水産業の振興については、資源の確保と「つくり育てる漁業」を推進してきました。

中心市街地の活性化については、街なかのにぎわい創出とともに、街なかの「憩いの空間形成」にも努める必要があると考えています。

市民の皆さんと協働し 輝くまちを目指します

雇用対策については、市単独事業の実施や国の制度を活用し、雇用機

会の創出を図ってきました。観光の振興については、観光の誘客に努めるとともに、老朽化した観光施設の改修にも積極的に取り組む必要があると考えています。

【6】安全、快適なまちづくり

八戸・久慈自動車道については、引き続き国などに強く要望していかなければならないと考えています。市道につ

いては、今後も整備促進に努めていきます。

港湾の整備については、関係団体と連携し湾口防波堤の早期整備を国・県に強く訴えていきたいと考えています。

都市基盤の整備については、快適で住みよいまちづくりに取り組んできたところです。下水道事業については引き続き、浄化槽とあわせて整備を推進し、水道事業については、今後も計画的な施設の整備・更新を行う必要があると考えています。

評価と検証を重ねて 市政運営に努めます

最後に諸施策の推進方針については「市政改革プログラム」の着実な実施を図るとともに「行政評価制度」を通じて、施策及び事務事業などの評価と検証を行ってきたところです。引き続き、効果的かつ効率的な市政運営に努めていかなければならないと考えています。

市民ならびに議員各位のご理解とご協力を賜りますようお願い申し上げます。